

総合教育会議

保幼小の円滑な接続をめざして
～鈴鹿市版架け橋プログラムの推進～

鈴鹿市教育委員会事務局教育指導課
こども政策部こども育成課

令和8年2月10日(火)



Index

目次

01

はじめに

02

本市の現状と課題について

03

架け橋プログラムについて

04

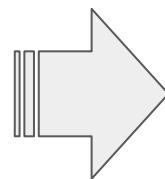
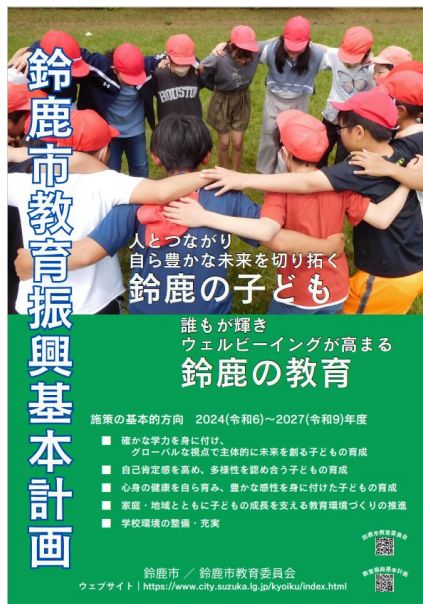
取組内容について

05

今後の取組について



01 はじめに



鈴鹿市幼小中一貫教育
ガイドライン
～教職員の共通理解を図るために～

**自ら学ぶこども
～自律した学習者～**

令和7年3月
鈴鹿市教育委員会

基本事業 1-5
就学前からの一貫した学びの充実



01 はじめに



めざすこどもの姿

主体的・自律的・協働的に
学び続け、
新たな価値を創造することも

多様性を認め合い、尊重し、
自分らしく輝くこども

困難に立ち向かい、
しなやかに生きるこども

特色ある取組



「自律した学習者」を育てます

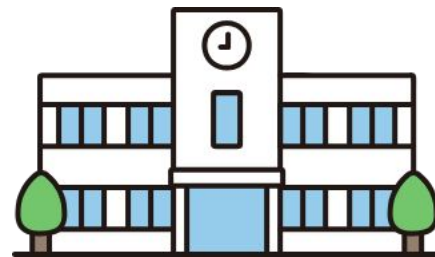
～ 自分で考え、自分で判断し、行動できるこども ～



小学校・中学校の9年間の一貫教育



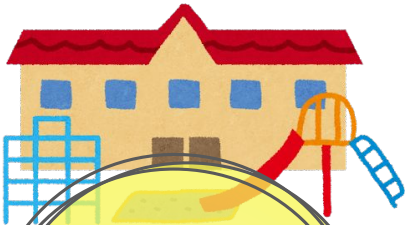
義務教育学校




天栄中学校区における
義務教育学校設置に向けた再編計画へ



小中一貫教育／義務教育学校



就学前
施設

1
年生2
年生3
年生4
年生5
年生6
年生7
年生8
年生9
年生

【前期課程】

【後期課程】



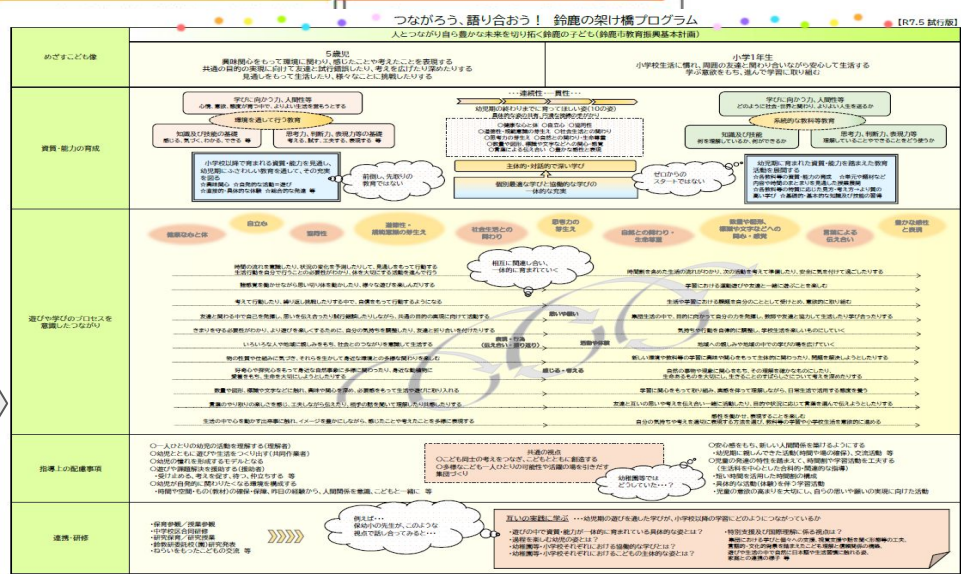
幼児教育から学ぶ
⇒遊びにおける環境や援助の工夫

幼小中一貫教育を導入していく取組内容の段階

第1ステップ

- ・めざす子ども像、学校園像の共通理解
- ・共通する重点取組の設定
- ・中学校区合同学校運営協議会の設置
- ・一貫教育推進組織の設置
(校区校園長会、合同研修長会議 等)
- ・園児児童生徒交流
- ・相互授業参観
- ・**架け橋プログラムを活用した教育課程、指導・支援方法の接続**
- ・系統的なカリキュラム編成
(地域学習／人権学習 等)
- ・家庭学習の在り方の調整

第2ステップ



保護者・地域への周知・啓発、協力依頼



02 本市の現状と課題について

連携教育

互いに情報交換や交流を行うなど、
就学時、進学時の円滑な接続をめざす

就学前施設

小学校

中学校

地区別集団登校（5歳児）
合同行事（運動会等）
5歳児と1年生の交流会
入学前の引継会、支援会議

中学生による小学校訪問
中学校教員による出前授業
入学前の引継会、支援会議
進学後の小学校教員による参観



一貫教育

めざすこども像を共有し、9年間
プラス就学前を通じた教育課程を
編成し、系統的な教育をめざす

架け橋プログラムを活用した
幼児教育と小学校教育の接続

就学前から中学校卒業までの一貫教育により、長期的・系統的な教育を実現

就学前施設

小学校

中学校

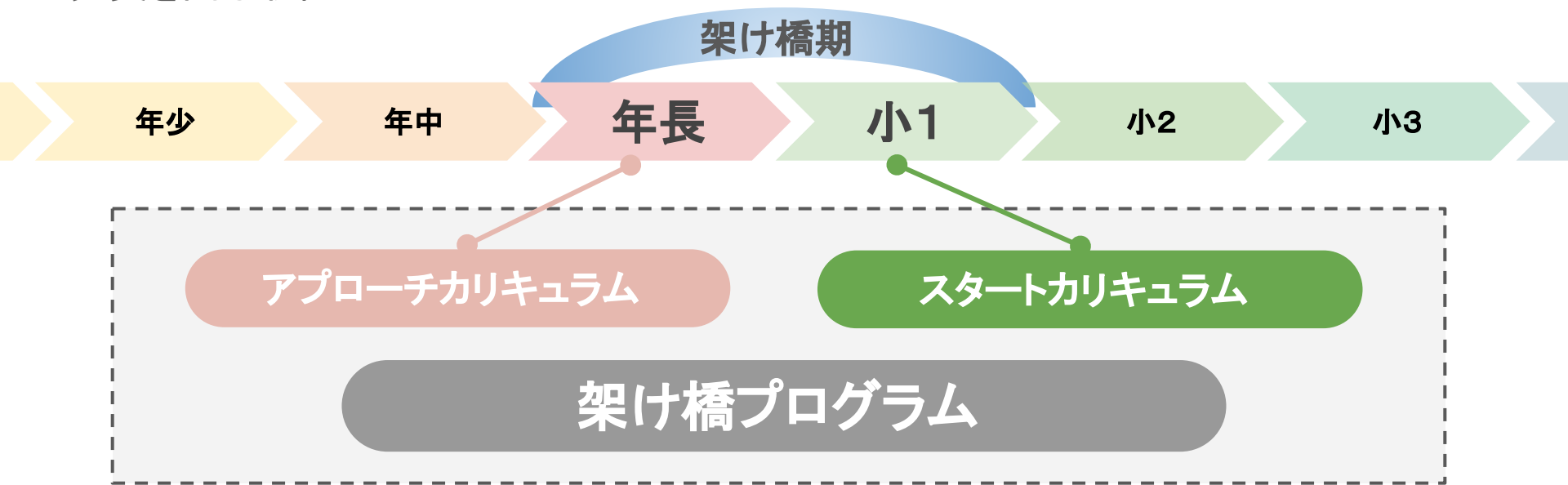
『学びの連続』



03 架け橋プログラムについて

国の施策

すべてのこどもに学びや生活の基盤を育むことをめざし、「架け橋期」の教育の充実を図る取組



03 架け橋プログラムについて

幼児教育の重要性

小学校へ



小学校以降の生活や学習の基盤



遊びを通した学び
資質・能力の育成
環境を通した教育

一人ひとり
に応じた
指導

こども
同士の
かかわり

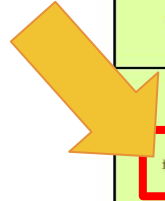


架け橋プログラムについて

つながろう、語り合おう！ 鈴鹿の架け橋プログラム

【R7.5 試行版】

<p>めざす子ども像</p>	<p>5歳児 興味関心をもって環境に関わり、感じたことや考えたことを表現する 共通の目的の実現に向けて友達と協働したり、考えを伝えたり認めたりする 見過しをもって生活したり、様々なことに挑戦したりする</p>	<p>小学1年生 小学校生活に慣れ、周囲の友達と関わり合いながら安心して生活する 学ぶ意欲をもち、進んで学習に取り組む</p>
<p>資質・能力の育成</p>	<p>---連続性--- 幼少期の終わりまで、育ってほしい姿(10の姿) 主体的・対話的で深い学び 個別最適な学びと協働的な学びの 体系的な実現</p>	<p>---連続性--- 幼少期の終わりまで、育ってほしい姿(10の姿) 主体的・対話的で深い学び 個別最適な学びと協働的な学びの 体系的な実現</p>
<p>遊びや学びのプロセスを 意識したつながり</p>	<p>相互に関連し合い、 体系的に育まれている</p> <p>自立心 他意な心と体</p> <p>自律性 意図性</p> <p>協調性・ 規範意識の芽生え</p> <p>社会生活との 関わり</p> <p>思考力の 芽生え</p> <p>自然との関わり・ 生命尊重</p> <p>数量や図形、 図解や文字などへの 関心・感覚</p> <p>言語による 伝え合い</p> <p>豊かな感性と 表現</p> <p>時間の流れを察知したり、状況の変化を予測したりして、見過しをもって行動する 生活行動を自分で行うことの必要性がわかり、係を大切にできる活動を選んで行う</p> <p>経験を重ねながら思いやりを動かしたり、様々な遊びを楽しんだりする</p> <p>考えて行動したり、繰り返し挑戦したりする中で、自信をもって行動できるようになる</p> <p>友達と関わる中で自己を認識し、思いを伝え合ったり協働したりしながら、共通の目的の実現に向けて活動する</p> <p>さまじりを守る必要性がわかり、より遊べるようにするために、自分の気持ちや考えを伝えたり、友と折り合いを付けたりする</p> <p>いろいろな人や地域に関心を持ち、社会とのつながりを意識して生活する</p> <p>物の性質や仕組みがわかり、それらを生かして身近な環境とのつながりを感じたり、 好奇心や探究心をもって身近な自然環境に多様に関わり、身近な動物植物に 愛着を持ち、生命を大切にしようとする</p> <p>数量や図形、図解や文字などに興味・関心をもつ。必要を感じて生活や遊びに取り入れる</p> <p>言葉のやり取りの楽しさを感じ、工夫しながら伝えたり、相手の話を聞いて理解したりする</p> <p>生活の中での動きや出席率に敏感に、イメージを豊かにしながら、感じたことや考えたことを多様に表現する</p> <p>時間や身体を目的とした生活の送り迎え、イメージを豊かにしながら、感じたことや考えたことを多様に表現する</p> <p>時間や身体を目的とした生活の送り迎え、イメージを豊かにしながら、感じたことや考えたことを多様に表現する</p>	
<p>指導上の配慮事項</p>	<p>〇一人ひとりの幼児の活動を理解する(理解者) 〇幼児とともに遊びや生活をつくり出す(共同作業者) 〇幼児の慣れを形成するモデルとなる 〇遊びや課題解決を援助する(援助者) 〇受け止める、考えを促す、待つ、仲立ちする 等 〇幼児が自発的に関わりたくなる環境を構築する ・時間や空間・もの(教材)の確保・保護、昨日の経験から、人間関係を意識、こどもと一緒に 等</p> <p>共通の視点 〇こども同士の考えをつなぎ、こどもともに創造する 〇多様なこども一人ひとりの可能性や活動の場を引き出す 集約づくり</p> <p>幼児園等では どうしていた…?</p> <p>〇安心感を持ち、新しい人間関係を築けるようになる ・幼児期に親しんできた活動(遊びや場の確保)、交流活動 等 〇児童の発達特性を踏まえて、時間制や学習活動を工夫する (生活科を中心とした合科的・関連的な指導) ・短い時間を利用した時間制の構成 ・主体的な活動(体験)を伴う学習活動 ・児童の意欲の高まりを大切に、自らの思いや願いの実現に向け活動</p>	
<p>連携・研修</p>	<p>例えば… 保幼科の先生が、このような 視点で話し合っている…</p> <p>互いの実践に学ぶ…幼児期の遊びを通じた学びが、小学校以降の学習にどのようにつながっているか ・遊びの中で資質・能力が体系的に育まれている具体的な姿とは？ ・過程を楽しむ幼児の姿とは？ ・幼児園等-小学校それぞれにおける協働的な学びとは？ ・幼児園等-小学校それぞれにおけるこどもの主体的な姿とは？</p> <p>・特別支援及び個別理解に係る視点は？ ・異種における学びの場への支援、児童支援や制を克服し影響の工夫、 ・異種・文化的的知識を踏まえたことと理解と関係性の構築、 遊びや生活の中で自然に生活や学習に繋がること、 家庭との連携の様子 等</p>	



資質・能力の育成

就学前

学びに向かう力、人間性等
心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする

環境を通して行う教育

知識及び技能の基礎
感じる、気づく、わかる、できる 等

思考力、判断力、表現力等の基礎
考える、試す、工夫する、表現する 等

小学校

学びに向かう力、人間性等
どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

系統的な教科等教育

知識及び技能
何を理解しているか、何ができるか

思考力、判断力、表現力等
理解していることやできることをどう使うか



就学前

…連続性・一貫性…

小学校



幼児期の終わりまでに育ててほしい姿(10の姿)
具体的な姿の共有、円滑な接続の手がかり

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

主体的・対話的で深い学び

架け橋プログラムについて

つながろう、語り合おう！ 鈴鹿の架け橋プログラム

【R7.5 試行版】

<p>めざす子ども像</p>	<p>5歳児 興味関心をもって環境に関わり、感じたことや考えたことを表現する 共通の目的の実現に向けて友達と協力したり、考えを伝えたり認めたりする 見過しをもって生活したり、様々なことに挑戦したりする</p>	<p>小学1年生 小学校生活に慣れ、周囲の友達と関わり合いながら安心して生活する 学ぶ意欲をもち、進んで学習に取り組む</p>
<p>資質・能力の育成</p>	<p>---連続性--- 幼少期の終わりまで、育ってほしい姿(10の姿) 主体的・対話的で深い学び 個別最適な学びと協働的な学びの 体系的な実現</p>	<p>---連続性--- 幼少期の終わりまで、育ってほしい姿(10の姿) 主体的・対話的で深い学び 個別最適な学びと協働的な学びの 体系的な実現</p>
<p>遊びや学びのプロセスを 意識したつながり</p>	<p>相互に関連し合い、 体系的に育まれている</p> <p>自立心 他意な心と体</p> <p>自律性 意図的・継続的意欲の芽生え</p> <p>社会生活との 関わり</p> <p>思考力の 芽生え</p> <p>自然との関わり・ 生命尊重</p> <p>数量や図形、 図解や文字などへの 関心・感覚</p> <p>言語による 伝え合い</p> <p>個性の個性と 表現</p> <p>時間の流れを認識したり、状況の変化を予測したりして、見過しをもって行動する 生活行動を自分で行うことの必要性がわかり、体感を通じて活動を進んで行う</p> <p>経験を重ねながら思いやりを動かしたり、様々な遊びを楽しんだりする</p> <p>考えて行動したり、繰り返し挑戦したりする中で、自信をもって行動できるようになる</p> <p>友達と関わりながら自己を表現し、思いを伝え合ったり協力したりしながら、共通の目的の実現に向けて活動する</p> <p>きまりを守る必要性がわかり、より遊びを楽しむために、自分の気持ちや意見を伝えたりする</p> <p>いろいろな人や物事に親しみを持ち、社会とのつながりを認識して生活する</p> <p>物の性質や仕組みがわかり、それらを生かして身近な環境とのつながりを感じたり、 好奇心や探究心をもって身近な自然現象に多様に関わり、身近な動物植物に 愛着をもち、生命を大切にしようとする</p> <p>数量や図形、図解や文字などに興味・関心をもつ。必要を感じて生活や遊びに取り入れる</p> <p>言葉のやり取りの楽しさを感じ、工夫しながら伝えたり、相手の話を聞いて理解したりする</p> <p>生活の中での動きや出席率に数値、イメージを豊かにしながら、感じたことや考えたことを多様に表現する</p> <p>時間や空間を目的とした活動に数値、イメージを豊かにしながら、感じたことや考えたことを多様に表現する</p> <p>時間や空間を目的とした活動に数値、イメージを豊かにしながら、感じたことや考えたことを多様に表現する</p>	
<p>指導上の配慮事項</p>	<p>〇一人ひとりの幼児の活動を理解する(理解者) 〇幼児とともに遊びや生活をつくり出す(共同作業者) 〇幼児の慣れを形成するモデルとなる 〇遊びや課題解決を援助する(援助者) 〇受け止める、考えを促す、待つ、仲立ちする 等 〇幼児が自発的に「関わりたくなる環境」を構成する ・時間や空間・もの(教材)の確保・保護、昨日の経験から、人間関係を意識、こどもと一緒に 等</p> <p>共通の視点 〇こども同士の考えをつなぎ、こどもともに創造する 〇多様なこども一人ひとりの可能性や活動の場を引き出す 集約づくり</p> <p>幼児園等では どうしていた…?</p> <p>〇安心感を感じ、新しい人間関係を築けるようになる ・幼児期に親しんできた活動(遊びや場の確保)、交流活動 等 〇児童の発達特性を踏まえて、時間制や学習活動を工夫する (生活科を中心とした合科的・関連的な指導) ・短い時間を利用した時間制の構成 ・主体的な活動(体験)を伴う学習活動 ・児童の意欲の高まりを大切に、自らの思いや願いの実現に向け活動</p>	
<p>連携・研修</p>	<p>例えば… 保幼小の先生が、このような 視点で話し合っていると…</p> <p>相互の実践に学ぶ…幼児期の遊びを通じた学びが、小学校以降の学習にどのようにつながっているか ・遊びの中で資質・能力が体系的に育まれている具体的な姿とは？ ・過程を歩み寄り幼児の姿とは？ ・幼児園等-小学校それぞれにおける協働的な学びとは？ ・幼児園等-小学校それぞれにおけるこどもの主体的な姿とは？</p> <p>・特別支援及び個別理解に係る視点は？ ・異種における学びの場への支援、児童支援や制を克服し影響の工夫、 異種・文化的背景を踏まえたことと理解と関係性の構築、 遊びや生活の中で自然に日常生活や学習に繋がること、 家庭との連携の様子 等</p>	



遊びや学びのプロセスを意識したつながり

鬼の数を決める

数える、比べる

就
学
前集団遊び
「鬼ごっこ」算数科
「数」「計算」小
学
校何人つかまった？
何人残ってる？

足し算・引き算

必要感

試す

考える

身近な題材
教材の工夫

<p>めざす子ども像</p>	<p>5歳児 興味関心をもって環境に関わり、感じたことや考えたことを表現する 共通の目的の実現に向けて友達と協働したり、考えを伝えたり認めたりする 見過しをもって生活したり、様々なことに挑戦したりする</p>	<p>小学1年生 小学校生活に慣れ、周囲の友達と関わり合いながら安心して生活する 学ぶ意欲をもち、進んで学習に取り組む</p>
<p>資質・能力の育成</p>	<p>学びに向かう力、人間性等 心構え、態度、態度が育つ中で、よりよい生活を築こうとする 環境を通して行う教育 知識及び技能の基礎 感じる、気づく、わかる、できる 等 思考力、判断力、表現力等の基礎 考える、試す、工夫する、表現する 等</p>	<p>---連続性--- 幼少期の終わりまで、育ってほしい姿(10の姿) 主体的な学び、主体的な表現の姿が育つ ---連続性--- 幼少期の終わりまで、育ってほしい姿(10の姿) 主体的な学び、主体的な表現の姿が育つ</p>
<p>遊びや学びのプロセスを 意識したつながり</p>	<p>自立心 他意な心と体 自律性 意図的・ 継続的意欲の芽生え 社会生活との 関わり 思考力の 芽生え 自前との関わり・ 生き生き 相互に関連し合い、 主体的に育まれている</p>	<p>知識や経験、 知識や文字などへの 関心・感覚 意欲による 伝え合い 意図的 と表現</p>
<p>指導上の配慮事項</p>	<p>○一人ひとりの幼児の活動を理解する(理解者) ○幼児とともに遊びや生活を共にする(共同作業者) ○幼児の権力を形成するモデルとなる ○遊びや課題解決を援助する(援助者) ○受け止める、考えを促す、待つ、仲立ちする 等 ○幼児が自発的に関わりたくなる環境を構築する ・時間や空間・もの(教材)の確保・保護、昨日の経験から、人間関係を意識、こどもと一緒に 等</p>	<p>○安心感を感じ、新しい人間関係を築けるようになる ○幼児期に親しんできた活動(時間や場所の確保)、交流活動 等 ○児童の発達特性を踏まえて、時間制や学習活動を工夫する (生活科を中心とした合科的・関連的な指導) ・短い時間を利用した時間制の構成 ・主体的な活動(体験)を伴う学習活動 ・児童の意欲の高まりを大切に、自らの思いや願いの実現に向け活動</p>
<p>連携・研修</p>	<p>例えは... 保幼小の先生が、このような 視点で話し合っていると...</p> <p>互いの実践に学ぶ...幼児期の遊びを通じた学びが、小学校以降の学習にどのようにつながっているか</p> <p>「遊びの中で資質・能力が一体的に育まれている具体的な姿とは？」 ・遊びにおける学びの場への支援、児童支援や制を制する影響の工夫、 異動・文化的な教育を踏まえたことと関係と関係の構築、 遊びや生活の中で自然に遊びや生活が育まれる関係、 家庭との連携の様子 等</p>	



04 取組内容について

取組① 研修講座「幼児教育」

- ・講演「保幼小の接続について」
- ・保幼小の教職員による話し合い



事後アンケートから

- ・就学前の学びが生涯にわたる学びの基本
- ・幼児期の遊びも学校教育の学びも同じ
- ・こどもの育ちはつながっている
- ・自由に語り合い、気軽につながっていけるような関係性の構築



取組② 飯野幼稚園研究発表会

令和7・8年度 鈴鹿市教育研究会研究委託園

研究紀要

幼児期からの主体的・対話的で深い学びをつなぐ

～接続から学びの連続へ～



- ・めざすこどもの姿を中学校区で共有
- ・飯野小学校との連携
- ・保幼小中の教職員によるグループ討議

参加者から

- ・主体的な学びを実現させるための教師の援助
- ・幼児期の遊びは、小学校以降の探究的な学びや深い学びの基盤
- ・学びのつながりを意識した、それぞれの教育実践

04 取組内容について

取組③ 教育委員会定例会 (玉垣幼稚園・小学校の架け橋プログラム)

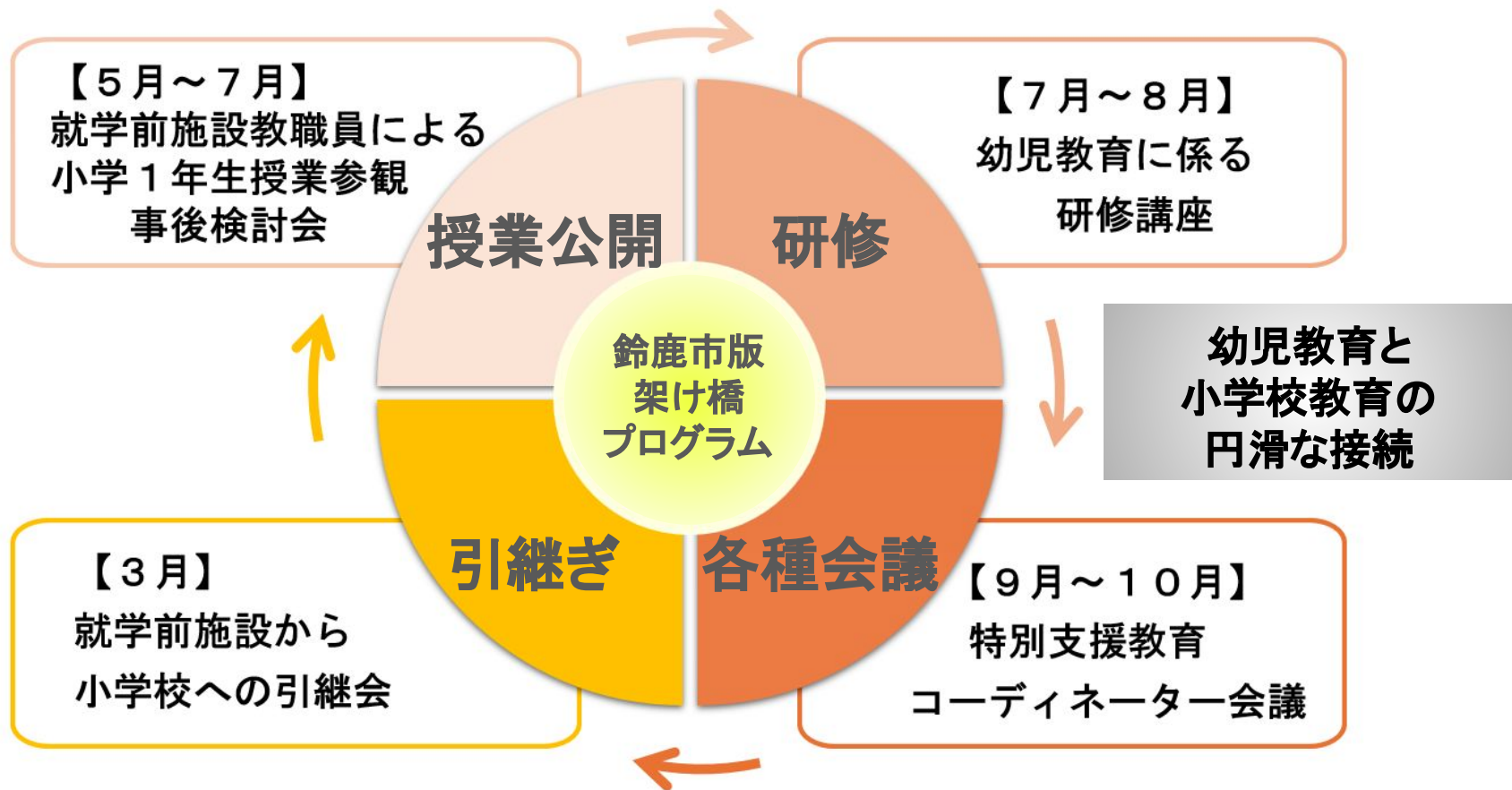
- ・教職員の相互理解
- ・こども同士の交流



小学生による
おもちゃランド

園児による
おもちゃランドの再現





※ 交流活動の共同実施、公開保育への参加 等

Step
1

R7

【対象】

- ・公立幼稚園、公立保育所

【体制】

- ・こども政策部との連携
- ・私立就学前施設への説明

【内容】

- ・合同研修
- ・公開研究発表(事後検討会)
- ・架け橋期のこどもの交流
- ・鈴鹿市版架け橋プログラムの共有

Step
2

R8～R10

【対象】

- ・私立幼稚園、私立保育園、認定こども園

【体制】

- ・各校区内就学前施設との連携
- ・保幼小の合同会議

【内容】

- ・教育内容や方法に関する相互理解

Step
3

R11～R13

【内容】

- ・実践
- ・検証
- ・改善

主体的に学ぶ力の育成

自ら学ぶ
こども

自ら学ぶ子ども ～自律した学習者～

楽しい！もっと
やってみたいな



今日は〇〇を
がんばるぞ！



〇〇ができた！
次の目標はこれだ！



協力して
解決できたね



入学時の不安解消
不登校の減少

学習・生活習慣の定着

発達段階に応じた
切れ目のない学び

保幼小の円滑な接続をめざして
～鈴鹿市版架け橋プログラムの推進～

総合教育会議

保幼小の円滑な接続をめざして
～鈴鹿市版架け橋プログラムの推進～

今後の方向性について
御意見等よろしく申し上げます

